

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	国立公園管理計画等策定調査費		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成18年度		<b>担当課室</b>	国立公園課		課長 上杉 哲郎		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5-2 自然環境の保全・再生				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第2・3項、第20条第3項、第21条第3項		<b>関係する計画、通知等</b>	国立公園管理計画作成要領(平成18年4月20日 環境省自然環境局長通知)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立公園を取り巻く自然条件、社会条件は多種多様であるため、一つの国立公園であっても、地域毎に様々な保護又は利用上の課題を抱えている。このため各国立公園を地域区分し(管理計画区)、それぞれの自然的社会的条件を踏まえ、検討会により地域の合意を形成しながら、風致景観の保護と適正な利用を推進するために必要な事項やその具体的な取扱方針、許認可の基準等について定めた「管理計画」や個別の問題点ごとにその解決のための「管理方針」を作成する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	平成22年度は、白山国立公園など合計13地区において管理計画等策定、6地区において管理方針検討のための調査、検討会、とりまとめ等を実施した。 平成23年度は、富士箱根伊豆国立公園など8地区において管理計画の策定作業、火山噴火により早急に今後の管理方針を策定する必要がある新燃岳など4地区において管理方針検討調査を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	12	14	13	13	9	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	12	14	13	13	9	
	執行額	11	10	10				
執行率(%)	95	72	83					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	それぞれの計画、方針について、課題等を踏まえ検討を行い、各公園の管理の質を高めることを目的としており、定量的に目標値を定めることは難しい。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	年間10数地区において管理計画、管理方針を策定		活動実績 (当初見込み)	地区	14	13	19	-
						(14)	(12)	
<b>単位当たりコスト</b>	活動実績としては上記のとおりであるが、本計画、方針の策定は、課題等を踏まえ検討を行いながら策定することを目的としており、策定数の多寡で単位当たりのコストを算出するのはなじまない。		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.5	1.4	人件費や現地調査回数等を見直し、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を減				
	委員等旅費	1.1	1.1					
	国立公園等調査管理委託費	9.9	6.5					
計	13	9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>自然公園法に基づき、各国立公園における許可基準の細部の取り扱い等について、国として作成しているもので、国立公園の円滑な管理のみならず国民に必要な事項を示すことができるため、継続して実施する必要があり引き続き経費削減に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>事業内容の精査・見直しを行い、必要最低限の支出となるように検討を進めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>人件費や現地調査回数等を見直し、必要最低限の予算となるよう、概算要求額を減額。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

許認可の基準等について定めた「管理計画」や個別の問題点ごとにその解決のための「管理方針」を作成する。

環境省  
10百万円

釧路自然環境事務所  
1百万円

【随意契約】

A.(有)自然環境コンサルタント  
1百万円

羅臼岳登山道携帯トイレ用ブース導入検討調査

関東地方環境事務所  
4百万円

【企画競争】

B.(株)野生動物保護管理研究所  
2百万円

仙石原湿原管理方針検討調査

【企画競争】

C.いであ(株)  
2百万円

明神岳植生復元管理方針検討調査

近畿地方環境事務所  
1百万円

【一般競争】

D.地域環境システム研究所  
1百万円

成ヶ島地区における維持管理方針策定

九州地方環境事務所  
4百万円

【企画競争】

E.(株)メッツ研究所  
2百万円

雲仙温泉・仁田峠自動車利用適正化方針検討調査

【企画競争】

F.(株)地域環境計画  
2百万円

えびの高原ノカイドウ保全対策検討調査

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.㈸自然環境コンサルタント			E.㈸メッツ研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	羅臼岳登山道携帯トイレ用ブース導入検討調査	1	雑役務費	雲仙温泉・仁田峠自動車利用適正化方針検討調査	2
計		1	計		2
B.㈸野生動物保護管理研究所			F.㈸地域環境計画		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	仙石原湿原管理方針検討調査	2	雑役務費	えびの高原ノカイドウ保全対策検討調査	2
計		2	計		2
C.いであ㈸					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	明神岳植生復元管理方針検討調査	2			
計		2	計		
D.㈸地域環境システム研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	成ヶ島地区における維持管理方針策定	1			
計		1	計		

## 支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)自然環境コンサルタント	羅臼岳登山道携帯トイレ用ブース導入検討調査	1	少額随契	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野生動物保護管理研究所	仙石原湿原管理方針検討調査	2	企画競争	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	明神岳植生復元管理方針検討調査	2	企画競争	-

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境システム研究所	成ヶ島地区における維持管理方針策定	1	4	46.2

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メッツ研究所	雲仙温泉・仁田峠自動車利用適正化方針検討調査	2	企画競争	-

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)地域環境計画	えびの高原ノカイドウ保全対策検討調査	2	企画競争	-